

# 平成 23(2011)年度 出雲市立小中学校事務職員会事業計画（案）

## 1 事務職員会の目的（役割）

### 会則（目的）

第3条 本会は、会員の資質向上につとめるとともに、学校事務職員制度の確立、学校事務の改善・充実を図り、学校教育および教育行政の推進に寄与する。

具体的には、

- ① 会員の資質の向上と知識・技能の習得をめざして研修を行う。
- ② 事務の効率化と標準化をめざして研究活動を行う。

## 2 総会

- ・日 時 5月27日（金）15:00～16:50
- ・場 所 出雲科学館
- ・内 容
  - ・平成22年度事業報告・決算報告・監査報告
  - ・平成23年度事業計画案・予算案審議
  - ・平成24年度県大会発表に向けて意見交換
  - ・新会員紹介 他

## 3 研修

### ・秋季研修会

日 時 9月30日（金）午後 大社文化プレースうらら館

内 容 研修1 講義 税理士 吾郷紘一様

研修2 講演 放送作家、小説家 岩崎夏海様

『もし高校野球の女子マネージャーがドラッカーの「マネジメント」を読んだら』の作者

### ・冬季研修会

開催時期 2月予定

内 容 今年度の研究内容に沿った内容での研修  
事業報告 他

## 4 研究

### ・研究内容

①「学校財務」に関する研究（平成24年度に継続する）

②「事務処理システムの改善に関する研究」

具体的な研究テーマおよび内容は、研究委員会で決定する。

### ・設定理由

①について ・これまで取り組んできた、事務の効率化と標準化に向けた研究の流れと合致する。

・島事研「第4次研究中期計画」の研究テーマ、研究目標に沿った研究である。

②について ・今まで共通で使ってきた事務処理システムを見直し、PC環境やメンテナンスの面などから改善する必要性が生じた。

- ・平成 24 年度県大会発表内容

- ① 事務職員会で取り組んできた内容や成果および平成 23 年度、24 年度の研究成果
- ② 事務支援グループの経過と成果および今後の方向性をあわせた内容

## 5 研究体制

- ・研究委員会の立ち上げ

研究委員会は希望者および役員で編成 ① 11 名、② 5 名 計 16 名

- ・会員は、調査等で全員が協力する。